



一人ひとりが彩るまち

～市民と共に明日を創る～

●立憲民主・無所属の会市議団を結成

私たちは新任期を迎えるにあたり、女性7名、男性6名で「立憲民主・無所属の会さいたま市議団」を結成。政治分野におけるジェンダー平等が求められる今日、会派として「パリテ(男女同数)」を達成することができました。会派名や構成メンバーが変わる中でも、前任期最後に市民の皆様へお示した会派基本方針『市民と共に明日を創る2023』をしっかり継承していきます。

阪本克己団長(写真右下)は、「所属議員数最多の第一会派として、議会運営に責任を持って臨む。」との決意を語りました。

さいたま市議会では、5月1日・2日に臨時議会を開催。正副議長選出をはじめとする議会人事の決定や補正予算などの議案審議がおこなわれました。経済的に困窮する子育て世帯への給付金や住民税非課税世帯に対する電気・ガス・食料品価格高騰支援給付金支給の補正予算などの市長提出5議案が可決成立しました。

●6月定例会を開催

改選後初の定例会が6月7日から30日まで24日間の会期で開催されました。今回、代表質問に高柳俊哉、一般質問に佐伯加寿美、出雲圭子の各議員が登壇しました(質問と答弁は次号レポートで紹介)。

子育て支援策の拡充や食料品などの物価高騰対策は引き続き喫緊の課題です。私たちの会派では、これまでも議会質問や会派要望を通じて、その充実強化を訴えてきました。

今回、市長提出の補正予算議案には、市独自に新生児1人あたり1万円を支給する「のびのび赤ちゃん応援金」の創設、多世代交流会食・子ども食堂・食品配布事業を実施している団体への運営費などの補助、住民税非課税世帯のひとり親家庭などへの支援として小・中・高校に入学した子ども1人あたり3万円を支給する「ひとり親家庭等就学支援金」創設なども含まれ、一定の評価ができるものです。予算審査では課題の指摘と改善に向けた提案もおこないました。

●市長提出 36 議案が成立

各委員会の報告事項には、総合振興計画審議会の開催状況及び答申について(総合政策)、さいたまマラソンについて(文教)、パートナーシップ宣誓制度の拡充及び見直し(案)について(市民生活)、公立保育所のあり方の基本方針(案)について(保健福祉)、レジャープールのあり方の方針について(まちづくり)などがありました。パブリックコメントのある事案については、ぜひ皆様の率直なご意見をお寄せください。

今定例会では、新教育長人事承認も含め市長提出議案36件が可決成立。今後の様々な取り組みを私たちは注視していきます。

会派基本方針
はこちらから



登壇する阪本克己団長

新しい所属委員会が決まりました

議会に上程される議案や市政についての課題は、常任委員会、特別委員会などで審査・調査を行っています。さいたま市議会には総合政策、文教、市民生活、保健福祉、まちづくり及び予算の常任委員会があり、各議員はいずれかの委員会に所属します。

今年度は新しく「超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討」特別委員会が立ち上がりました。ほかに6つの特別委員会も設置されています。市政へのご意見やお困りごとは各担当議員へお寄せください。二次元コードから議員の連絡先などをご覧ください。

(◎委員長、○副委員長)



そえの ふみこ
添野 ふみこ

◎総合政策
超高齢社会に向けた
公共交通の在り方検討



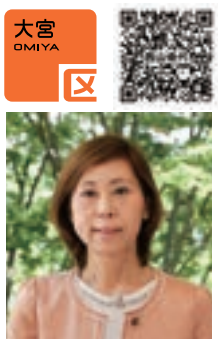
団長代行
たかやなぎ としや
高柳 俊哉

市民生活
○大宮駅グランドセントラル
ステーション化構想 / 決算
議会運営



幹事長
みかみ たかし
三神 尊志

◎予算 / 文教
議会改革推進
監査委員



副団長
にしま さちよ
西山 幸代

保健福祉 / 予算
政治倫理 / 大宮駅グランド
セントラルステーション化構想
○議会運営



はまぐち けんじ
浜口 健司

総合政策
大都市行財政将来ビジョン



総務会長
さえき かずみ
佐伯 加寿美

◎文教
大都市行財政将来ビジョン /
大宮駅グランドセントラル
ステーション化構想
都市計画審議会



広報局長
いずも けいこ
出雲 圭子

○まちづくり / 予算
市庁舎等整備検討
議会広報編集



政策調査会長
まつもと しょう
松本 翔

○保健福祉 / 予算
○地下鉄7号線延伸事業
議会運営



ささき さとみ
佐々木 郷美

文教
決算 / 地下鉄7号線
延伸事業



つつみ ひでし
堤 日出喜

市民生活
地下鉄7号線延伸事業



あいかわ あやか
相川 綾香

総合政策
決算 / 議会改革推進



ながい りな
永井 里菜

市民生活
大都市行財政将来ビジョン /
超高齢化社会に向けた
公共交通の在り方検討
議会広報編集

● 女性活躍推進議員連盟の発足

改選後、これまで全議員60名中12名だった女性議員が16名に増え、議会全体で26.6%になりました。女性議員が増えると身近な課題や今まで声を上げられなかった人たちの意見がより議会に届きやすくなり、今より住みやすい社会に変わります。

今回発足した「女性活躍推進議員連盟」(西山幸代会長)は、男女共同参画社会のあり方についての提言をまとめ、将来的に市へ提出したいと考えています。

また、7年前から私たちの会派の添野ふみ子議員を中心に超党派の女性議員でジェンダー平等政策についての調査研究を行っている任意団体「さいたまミモザの会」とも、連携を図り活動をしてまいります。

● 政策条例プロジェクトチームを設置

インターネット上での書き込みによる個人情報流出、フェイクニュースの拡散、誹謗中傷などが社会問題になっています。その防止及び被害者支援をテーマとし、政策条例プロジェクトチームが副議長の下に設置されまし

た。今後、議員提案条例の制定を目指し、取り組んでまいります。



「女性支援の現状と課題」をテーマに研修